

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)	全員/選択
国語	古典	3	3年	普通科普通(文型) 普通科国際コミュニケーションコース	全員

### 1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文漢文の基本的な知識や文法事項を身につけ、日本や中国の優れた古典作品を読解・鑑賞する力を育てる中で、生徒個々の進路希望の実現のための文章読解力を完成する。</li> <li>古典作品を通して、物の見方・感じ方・考え方を深め、人生をより豊かなものにする能力を育てる。</li> </ul>
使用教科書・副教材等	教科書 高等学校 古典 古文編・漢文編 (第一学習社) 副教材 クリアカラー国語便覧(数研出版) シグマ標準古文単語300+150(文英堂) 体系古典文法(数研出版) 漢文必携(桐原書店) 問題集 みるみる実力アップ古文stage4(第一学習社) 応用漢文新課程版(尚文出版) 完成 日本文学史ノート(京都書房) 進研センター試験対策重要問題演習 古典(ランズ)

### 2 学習計画及び評価方法等

#### (1) 学習計画

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他	考査範囲
第1学期	古文「古今の草子を」(枕草子)	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要単語や文法事項を確認しながら正確な口語訳を行い、登場人物や話の展開を的確にとらえる。</li> <li>平安時代の文学史を整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敬語の理解度・定着度を確認する。</li> </ul>	中間考査
	漢文 莊子「曳尾於塗中」・韓非子「侵官之害」	4 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>句法や漢字の意味を確認しながら正確に口語訳を行う。</li> <li>道家・法家の思想を理解するとともに、それぞれの考え方の共通点や相違点を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>句形の理解度・定着度を確認する。</li> <li>中国思想の流れを理解する。</li> </ul>	中間考査
	古文「時平と道真」「兼通と兼家の不和」(大鏡)	5 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要単語や文法事項を確認しながら正確な口語訳を行い、登場人物や話の展開を的確にとらえる。</li> <li>平安時代の文学史を整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敬語の理解度・定着度を確認する。</li> </ul>	期末考査
	漢文 名家の文章「傷仲永」「黔之驢」	6 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>句形や漢字の意味を確認しながら正確に口語訳を行い、筆者の主張を的確に読みとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>句形の理解度・定着度を確認する。</li> </ul>	期末考査
【課題・提出物等】 「みるみる実力アップ古文」「応用漢文」「シグマ標準古文単語」「完成日本文学史ノート」を自学自習教材として位置づけ、小テストや定期考査で達成度を確認する。					
【第1学期の評価方法】 春課題テストと中間・期末考査の定期考査に提出物の状況、授業中の小テストの得点、授業に対する意欲・態度を総合的に判断する。					

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他	考査範囲	
第2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>センター試験対策問題演習</li> <li>重要語句・文法事項・句法および文学史等の演習</li> </ul>	8 9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試センター試験対策のための、実践的な問題演習を通じて、マーク式の問題に慣れ、速読力を身につけるとともに、古文・漢文について、文章読解力・設問の理解力・選択肢分析力などを身につける。</li> <li>重要語句・文法事項・句法などの読解に必要な基本事項の定着を図るとともに、日本文学史の基本的な事項を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解く際の集中力を高める意識を明確に持つとともに、誤答の理由を十分把握できるように注意する。</li> </ul>	中間考査 期末考査	
	【課題・提出物等】 「みるみる実力アップ古文」「応用漢文」「シグマ標準古文単語」「完成日本文学史ノート」を自学自習教材として位置づけ、小テストや定期考査で達成度を確認する。					
	【第2学期の評価方法】 中間・期末考査の定期考査に提出物の状況、授業中の小テストの得点、授業に対する意欲・態度を総合的に判断する。					

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他	考査範囲
第3学期	・センター試験対策 マーク問題演習 ・国立個別試験対策および私立大学試験対策問題演習	1 2	それぞれの希望進路の実現に向けて、読解力・記述力を中心に、これまで培った総合的な国語力を完成する。	画竜点睛の時期であることを自覚し、得点につながる解答の仕方を身につけるために、焦らずねばり強く取り組む姿勢を大切にす。	

**【年間の学習状況の評価法】**

年間を通しての、課題テスト、定期考査、小テスト、提出物、授業に対する意欲・態度を総合的に判断して評価する。

確かな学力をつけるアドバイス	・古文単語や句法などの学習を大切にしよう。(小テスト等にも合わせて計画的、継続的に行おう) ・時間的には短くてもいいから毎日復習する習慣をつけ、知識的な定着を図ろう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	話を聴く際、問題を解く際の集中力を高めていこうという課題意識を明確に持って望んでください。ぼんやり聞くことは厳禁です。特に十分な予習が出来ている人は、重要単語や文法的事項等について「授業の中で覚える」という意識を明確にもって臨んでください。

**(2) 評価の観点、内容及び評価方法**

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、進んで古典に親しもうとする態度が養われている。	言語文化や伝統に関して広く関心を示しているかどうかを、授業での取り組みの様子などから評価する。
思考・判断	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	それぞれの教材の持つ特性を深く味わい、それによって自身の思考や心性を養おうとしているかどうかを、授業に取り組む様子などから評価する。また、定期考査や小テストによって、達成度を評価する。
資料活用の技能・表現	資料を通して古典作品の背景を知ること、古典の読解力を高める。	古典作品の背景としての言語文化や伝統について、資料等で調べ、より深い理解を得ようとしているかどうかを、授業での取り組みの様子などから評価する。
知識・理解	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。	定期テストや小テストによって、達成度を評価する。

**3 担当者からのメッセージ**

現代文同様に即効性を求めすぎてはいけません。一方で現代文よりも古典の方が手応えを感じながら勉強はできるはず。ポイントは読解のための基本(暗記)事項の定着度を高める(しっかり覚える)ことと、推測しながら文章を読む(ことをたくさんすること)のバランスです。時間をかけて勉強してきたのに得点が伸びないと感じている人は、基本事項の整理不足なのか、読むことの不足なのかを、まず分析しましょう。問題演習の際にも、「なぜ読めなかったのか」「なぜ間違えたのか」の原因を必ず分析して次に生かすことが大切です。計画的・継続的な(基本事項の)学習で自信をつけ、問題演習でさらにその自信が高められるような展開が理想です。苦手意識を持ちすぎないことが大切なのも現代文と同じです。